

氏名：石川 裕 (東京大学教授 大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻)		
略歴： 1987年 慶応義塾大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程卒業 工学博士、同年、通商産業省電子技術総合研究所入所 1988年 米国カーネギーメロン大学客員研究員 (1年間) 1993年 技術研究組合 新情報処理開発機構出向 2002年 東京大学助教授 大学院情報理工学系研究科 現在 東京大学 教授 大学院情報理工学系研究科	専門分野：A, C, D, E	
	専門分野(詳細)： 並列分散システムソフトウェア、クラスタシステム、グリッドシステム、高性能計算システム、実時間組込みシステム、オペレーティングシステム	
公募対象プロジェクト： ユーザに使われるシステムソフトウェアを目指したプロジェクトで、オペレーティングシステム、ミドルウェア、プログラミング言語処理系、プログラム開発環境に関係するテーマを募集します。既に研究開発された先端的システムソフトウェアの価値を高めるためのアプリケーションや開発支援環境に関する提案も歓迎します。以下に関係するキーワードを列挙します。 <ul style="list-style-type: none"> • 応用分野 高性能計算、サーバ、携帯端末、ロボット、ユビキタス、センサーネットワーク • プラットフォーム マルチコア、バッテリー駆動端末、クラスタ、グリッド、センサー、分散システム • システム技術 省電力、電力制御、高性能計算、実時間処理、VM、耐故障性、セキュリティ、プログラミング環境 使われるソフトウェアを創り、末永く育てていきたいと考えている人の提案を求めます。		
提案テーマ詳細説明の記入要領 及び 審査基準 記入要領： 以下の内容を様式3【提案テーマ詳細説明】として、文字サイズ10.5ポイントで6ページ以内で記述してください。各項目について細かい記述の指示をしませんが、評価者の観点から記載してください。 1. 背景&動機 2. 目標 3. 準備状況 4. 開発体制&計画 5. プロジェクトの効果 提案内容の理解を深めるために補足資料を添付しても構いません(6ページとは別)が、その場合、図を用いるなどして分かりやすい説明を心がけてください。 審査基準： 1. 提案内容が簡潔かつ的確な抽象度で記載されているかどうかは、ソフトウェア開発に通じるものがあります。6ページを超える提案は要件を満たしていないと判断し、審査対象外とします。 2. 使われるためには、ただソフトウェアを作るだけでは駄目です。開発体制&計画の中に、開発時のソフトウェアテスト方法、ドキュメントの整備、ソフトウェア配布パッケージなど、具体的体制および計画が盛り込まれているかを重視します。		
採択予定数 (予算枠30,000千円位)	6件程度を予定(2008年度上期・下期合計として6件程度)	
採択しようとする 応募者の条件		
プロジェクトの 進捗管理、指導方針	キックオフミーティング、1回の間接報告会、最終成果報告会の他、月1回インターネットミーティング等で開発の状況を報告していただき、問題点等の議論をしていきます。詳細設計、プログラミングについても助言していき、人材育成に貢献したいと考えています。	
指導観点	人材育成の循環への貢献	ビジネスマインドの醸成